

年に7回、
市民しんぶん(区版)に
挟み込んで配布
しています!



京都 市会だより



第146号
令和7年(2025年)
11月15日発行



●発行/京都市会 ●編集/京都市会事務局 ●〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地 ●TEL. 075 (222) 3697 FAX. 075 (222) 3713 京都市印刷物 第071624号

京都市会 検索

Facebook follow me!

京都市会YouTubeチャンネル



物価高を踏まえた市民生活・事業者の下支え 12億600万円

議論の一部

省エネ家電への買換え促進事業

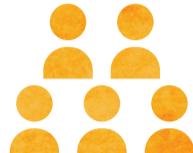
- 市民が利用しやすい申請方法とする必要がある。

学校給食食材費高騰への対応

- 3学期だけでも給食費を無償化するなど負担軽減に本腰を入れて取り組む必要がある。

中小事業者の省エネリノベーション支援事業

- 予算規模に見合った事業効果が生じるかをしっかり確認していくことが必要。



新たな公共交通体系の構築 一自動運転バスの導入に向けた実証実験一 4,700万円

担い手不足の解消や交通事故の低減など交通課題の抜本的な解決だけでなく、市民の利便性向上や地域活性化にもつながる自動運転バスの導入に向けて、市交通局等との連携のもと、実証実験を実施する。



議論の一部

- 国の補助金も活用し、京都府をはじめ関係機関と連携して、できる限り早期に取り組む必要がある。
- 歩行者をはじめ安全確保に最大限配慮するとともに、運転士不足や地域公共交通の課題解決につなげることが必要。

令和7年度補正予算を可決!

9月30日の本会議で、物価高を踏まえた市民生活・事業者の下支えや、自動運転バスの実証実験、京都市立病院の在り方検討などに必要な総額 71億4,700万円 の補正予算を可決しました。

京都市立病院の今後の 在り方検討・資金繰り支援 20億5,000万円



事業規模の適正化等のあらゆる可能性を含めた病院の在り方について、外部知見を踏まえた検討を行い、年度末に方向性案を取りまとめる。あわせて、それまでの間の臨時の財政支援として、短期貸付を行う。

議論の一部

- 外部の多様な意見を反映するため、既設の京都市立病院機構評価委員会の委員と連携して経営を分析し、今後の在り方を検討することが必要。
- 公立病院として閉院の可能性を一切排除し運営を継続する必要がある。

持続可能な行財政運営の 推進(過去負債の返済) 25億円



一般会計の収支不足を補てんするために行ってきた、公債償還基金からの計画外の取崩しを一部返済する。
(公債償還基金の計画外の取崩残額 425億円→400億円)

議論の一部

- 過去負債を早期に返済する必要がある。
- 物価高騰下においては、一般財源を過去負債の繰上げ返済に充てるのではなく、市民生活や子育て支援に活用するべき。

9月市会 前半 令和7年度補正予算を審査・代表質問

9月19日
本会議
市長が議案を提出

9月22日
予算特別委員会(局別質疑)
補正予算を審査

9月30日
本会議
補正予算を議決

10月1日・2日
本会議(代表質問)
市政の課題等を議論

主な
代表質問を
2・3面で
紹介します!



17名の議員が
代表質問を
行いました!

代表質問とは?

本会議において、議員が各会派を代表して、市長等に対し、市政のあらゆる事業や取組等について、現在の状況や将来に向けての方針等の確認、政策提案などを行うものです。

9月市会 後半 令和6年度決算等を審査

10月6日～14日
決算特別委員会(局別質疑)
事業の担当局ごとに
詳細な質疑を実施

10月20日・21日
決算特別委員会(総括質疑)
審査の総仕上げとして、市長等に
対して一問一答で質疑を実施

10月30日
本会議
令和6年度決算等を議決

後半は
次号で
紹介します。
(12月15日発行)

9月市会の議論の様子を京都市会
ホームページからご覧いただけます!

京都市会
ホームページ



インターネット
議会中継

